

DIVER'S

No.5

令和7年(2025年)
12月22日(月)発行

—学校図書館で本と出会い、未知なる世界に飛び込もう!—

多彩な 学校図書館 活用の様子



01 Group Activities

グループ 学習



晴海西中学校3年生
社会科授業の様子

図書館は一人で読書するだけでなく、グループ活動で利用することもあります。調べたことをまとめ、外部講師を招いてグループごとにお話を伺うなど、いつでも調べられる環境で、広いスペースを活かした活動もしています。

02 Library Committee Activities

図書委員会 の活動



本を借りたら返却期限内に必ず返しましょう!

日本橋中学校
図書委員会の活動

図書委員会は、毎日の貸出返却のほか、図書館だよりの発行、本の紹介、掲示物の作成、読書イベントの実施など、自主的に考えたさまざまな活動を行っています。図書館に足を運び、読書につながる工夫をしています。

03 News Paper

新聞の活用



佃中学校3年生
社会科授業の様子

学校には、毎日複数の新聞が届きます。図書館では、これらの新聞を活用した授業を行うこともあります。日常的に新聞を読む機会が少なくなった今日、紙の新聞を読むことは生徒にとっても目新しく、発見も多いようです。

04 Book tasting

味見読書



銀座中学校2年生での実施の様子

数人のグループに分かれ、机上に用意された本から気になる1冊を選び、3分間読みます。どのくらい続きが読みたいかをシートに記入し、隣の席の人に本を回して次の本を読みます。味見をするように短い時間でさまざまな本と出会う読書の手法です。

05 Hybrid Literacy: Books x Tablets

本とタブレットの併用



晴海中学校1年生
国語科授業の様子

本には複数の精査された内容が掲載されていますが、新しい情報を知るためにはタブレットが活躍します。図書館での授業では、生徒が本とタブレットを使い分けながら調べ学習に取り組んでいます。



日本橋中学校は、令和7年の夏休みに日本橋校舎から浜町校舎に移転し、学校図書館の窓から見える風景も川から緑に変わりました。正面には、加藤清正を祀った由緒ある清正公寺を臨むことができます。

職員室の前に位置する図書館は、生徒や先生との距離が近くなり、昼休みには多くの利用者が賑わいます。本好きな生徒が読書に訪れるだけでなく、学習で利用する生徒の姿も増えてきました。



日本橋 中学校



日本橋中学校の
学校図書館について、
学校司書をご紹介します！

図書館は昼休みに毎日開館し、図書委員がカウンター当番を担当します。このほか、図書委員会では館内ポスターやおすすめ本のPOP作成、図書館だよりの発行など、さまざまな活動を行っています。

また12月は毎週火曜日に昼の校内放送で、本を紹介しています。直接語りかける本の紹介は初の試みですが、反応が楽しみです。



最大の特徴は、メディアミックス作品に注目した「校長先生おすすめコーナー」です。校長先生が実際に読まれた本をチラシやポスターなども添えて展示しています。定期的に展示の内容を変えることで、本の世界がさまざまな分野へ広がる体験を提供しています。

学校図書館は、利用されることで成長します。これからも「使いやすい」「居心地がよい」「新しいことに出会える」場所を目指していきます。

「医療に特化したミステリー」

著

者の海堂さんは医療関係の著作で有名です。一番有名な作品は

ドラマにもなった「チームバチスタの栄光」ですね。心臓手術専門チーム「チーム・バチスタ」で起きた連続術中死の謎を追う医療ミステリーです。普通のミステリーは読んでいくとそれなりに面白いのですが、医療に特化したミステリーなので、面白く感じます。

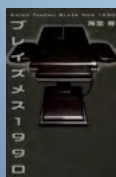
海

堂さんは他にもいろいろな本を出しています。私はとても好きで、新しいものが出たときはすぐに買って読んでしまいます。皆さんもぜひ興味をもっていただけたら、図書館で借りて読んでみてください。この2冊を読めばほかの作品も読みたくなり、あなたも海堂さんの作品のとりこになること間違いありません。だまされたと思って手に取ってみてはいかがでしょうか。

PRINCIPAL'S COLUMN RELAY

校長先生コラムリレー

RECOMMEND BOOK



書名：
『ブレイズメス1990』
『スリジェセンター1991』
著者：海堂 尊
出版社：講談社



晴海中学校長
藤江敏郎 先生

今

ご紹介する2冊、『ブレイズメス1990』・『スリジェセンター1991』は、モナコ在住の規格外の変った天才外科医・天城雪彦を研修医・世良雅志が日本に招聘し、いろいろな手術を行っていくというストーリーです。最後には、全く予想しなかった結末が待っています。これらの本は、ぜひ2冊を合わせて読んでほしいと思います。内容は医療関係の難しい言葉はあまりなく、誰でも読める内容になっています。もし、こんな医者が日本にいたらどんなふうになってしまうのか、想像するだけで不思議な気持ちになります。天才ってこういう人のことを言うんだなと思います。

[お問い合わせ先]

中央区教育センター内学校図書館支援センター
〒104-0044 東京都中央区明石町 12-1
TEL.03-3545-9201

